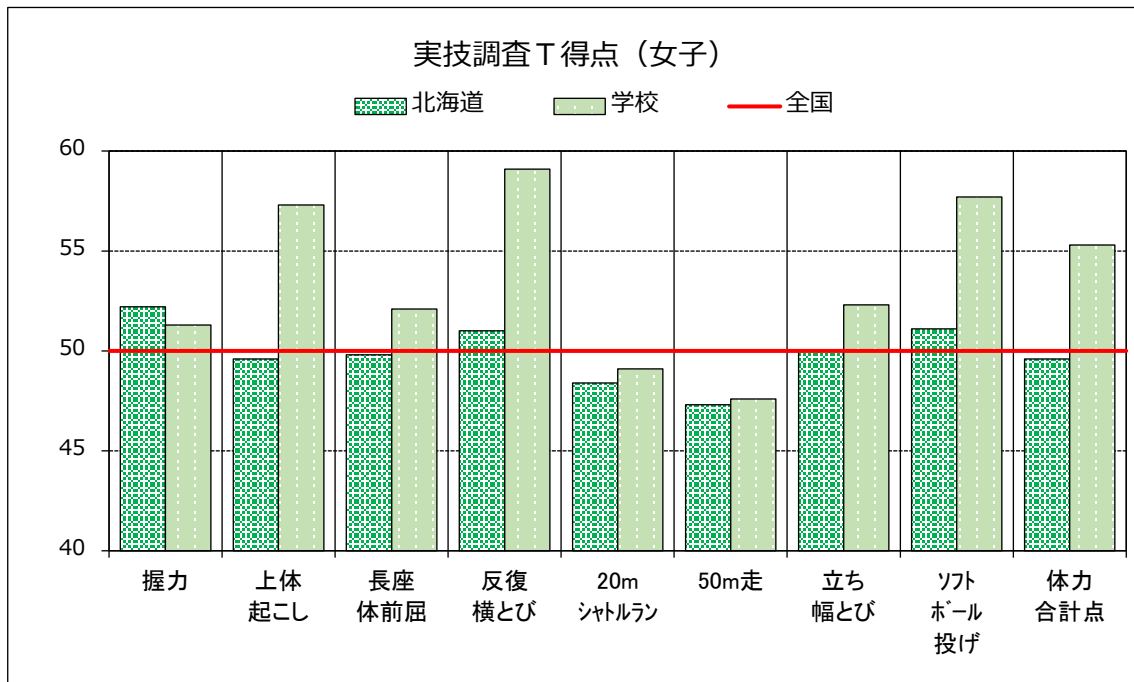
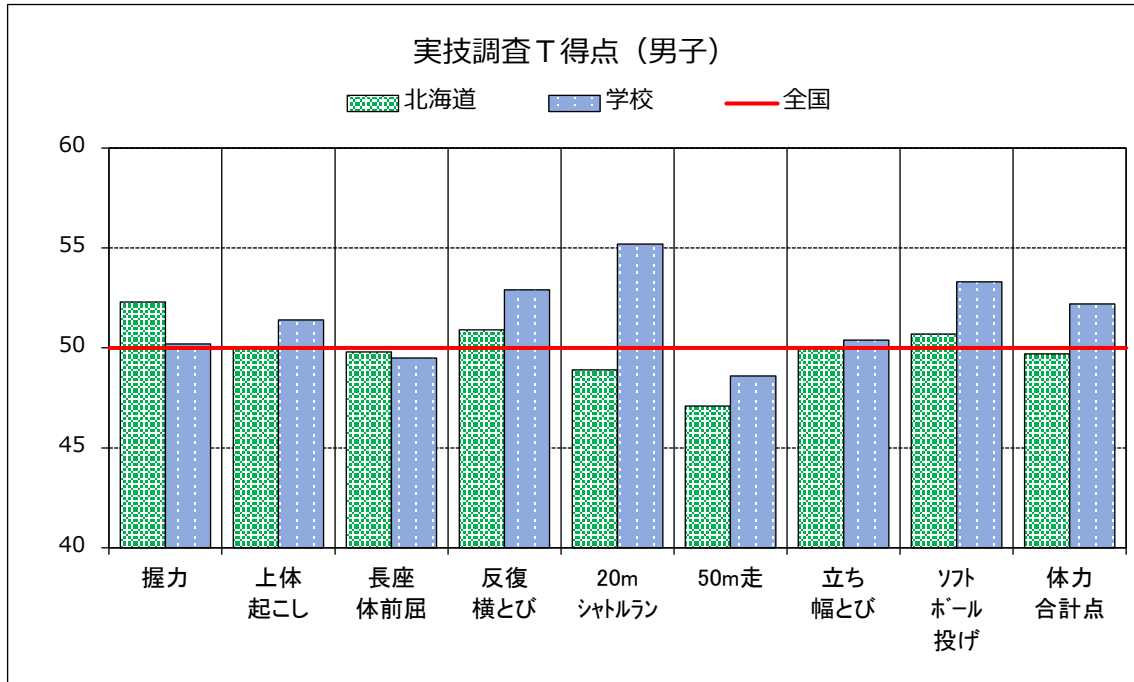


平成 30 年度 森の里小学校

全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果(5 年生)



本校児童の体力の傾向と今後の取組

５年生で実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてお知らせいたします。また、今年度の体力テストは、ボランティアの協力の下、５年生以外の全校児童についても全８種目実施していますので、併せて、本校の全校的な体力・運動能力に関する傾向をお知らせします。

【５年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と考察】

○体力合計点が男女ともに全国平均を上回り、体力・運動能力が高い状況と言える。

○全国平均を大きく上回った「種目」と（能力）

男子「20m シャトルラン」（全身の持久力）

「ソフトボール投げ」（投げる力や瞬発力）

女子「上体起こし」（筋力、筋力を持続する力）

「反復横跳び」（すばやく動作を繰り返す力） 「ソフトボール投げ」

●全国平均よりやや下回った「種目」と（能力）

男子「50m 走」（すばやく移動する力）

女子「50m 走」 「20m シャトルラン」

●男女ともに得意・不得意の差が大きい種目があり、体力のバランスに課題が見られる。

○男女ともに少年団等に所属して日常的に運動をしている児童の割合が高い。

△「運動が好き」「体を動かす遊びが好き」、および「運動やスポーツは大切である」「自主的にスポーツをする時間を持ちたい」と回答した児童は、男子が全国平均を下回っているのに対し、女子は上回っている。

○「睡眠時間」は、男女ともに全国と比べて充分である。

●「朝食を毎日食べていない」児童がやや多い。

●「体育の授業は楽しい」「授業のはじめに授業の目標が示されている」「今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」など、授業時間に関する設問は、男女ともに全国平均を下回っている。

【５年生以外の児童の傾向】

○「上体起こし」や「立ち幅跳び」（跳躍力）のポイントが高い。このことから、筋力や跳躍力がよく身に付いていると言える。

●「50m走」や「20m シャトルラン」、「長座体前屈」（柔軟性）などのポイントがやや低い。このことから、走力や全身の持久力、柔軟性に課題がみられる。

●体力のバランスがとれていない傾向にある。

【今後の取組】

①今年度の結果を全職員で共通認識を図り、授業改善に努める。また、走力や全身の持久力、柔軟性を高める取組を進めバランスのよい体力・運動能力の育成を目指す。

②継続的に全校・全種目の体力テストを行い、取組の成果を検証し改善を図る。

③体力や運動能力、運動習慣について、保護者や地域と連携した取組を推進する。